

主催：一般財団法人 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ  
 後援：熊谷市・熊谷市教育委員会・小川町・小川町教育委員会・東松山市教育委員会  
 川島町教育委員会・吉見町教育委員会・滑川町教育委員会・嵐山町教育委員会



新しい年  
 新しいことに  
 チャレンジ!

2025

家族で世界の扉を開こう



# 7カ国語で話そう。 多言語ワークショップ

みなさんと一緒に作る参加型ワークショップです。

参加無料  
 要申込

1/5(日)  
 14:00-16:00  
 東松山市民  
 文化センター

1/18(土)  
 14:00-16:00  
 東松山市民  
 文化センター

1/25(土)  
 10:00-12:00  
 熊谷文化創造館  
 さくらめいと

2/11(火祝)  
 10:00-12:00  
 小川町民会館  
 リリックおがわ



- 世界の音楽で遊ぼう♪
- 世界のことばを聞こえたままに声に出してみよう
- ヒッポファミリークラブの研究者のお話を聞いてみよう

多言語×多世代×多様性



アメリカ出身のケビン、純ジャバのかけ、ヒッポ育ちのやまちゃん3人で活動中の人気グループ。やまちゃんは日本生まれ日本育ちですが、ヒッポファミリークラブで幼少期から多言語に触れて身についた自然な英語力に、ネイティブのケビンも驚愕!

英語だけじゃもったいない!

家族で楽しい♪

育てよう、世界につながることばと心

YouTubeで話題沸騰!

Kevin's English Room  
 (英語×コメディ×教育系 YouTube)



ここから見てね!



一般財団法人  
 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ  
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-2-10 青山H&Aビル3F  
 TEL 03-5467-7041 FAX 03-5467-7040



お申し込みはお電話またはこちら↓から  
 ☎0120-557-761

受付時間  
 10:00~17:30 (平日)



ヒッポファミリークラブは文部科学省「子供の体験活動推進宣言」賛同団体です。



# 「外国語」ではなく、どんなことばも「同じ人間のことば」として。

赤ちゃんは生まれ育った環境のことばを自然に話せるようになります。日本語の環境なら日本語を、たくさんのことばが聞こえてくる環境であれば、飛び交うことばを複数話せるようになります。ことばって本来そういうもの。ヒッポファミリークラブは1981年から多世代の仲間とことばの自然について研究、実践し続けてきました。「多言語」をすることは、自分の世界を広げ、多様なものを受け入れ、どんな人にも向き合う心を育てることにつながります。今の時代、英語だけではもったいない。様々な国のことばの音に触れ、人と人との繋がりの中で一緒にことばを育てていきませんか？

## 多言語の音に浸る

世界の歌と多言語で語られる物語のオリジナルマテリアルを使って多言語が聞こえてくる日常を作ります。まずは家の中で流してみましょう。自然にいろんなことばの音が重なるような環境の中で、音楽のように多言語のメロディを楽しみながら、豊かな音の感覚をつけます。(現在22のことばに触れることができます。)

## ファミリーに出かけよう

「ファミリー」は、人と出会う交流の場。国籍や年齢、体験に関係なく、0才からシニア世代まで一緒に多言語を楽しみます。先生はいません。多言語マテリアルを仲間と共有し、一緒にことばを育てあいます。現在ではオンラインの活動も。日本中、世界のメンバーとも繋がって、様々なことばと、人との出会いの中で多言語がふっくら育っていきます。

## ことばを歌う

聞こえてくる多言語を丸ごとハミング。まずはそれぞれの国のことばのメロディを音楽のように口ずさんで歌うように言ってみます。間違いなど気にせず口にする。ことばが育つプロセスを大切に。家族や仲間と一緒にだからハミングしているうちに自分でも思いがけないことばの音が引き出されることも。そんなふうにしながら自然にことばを身につけていきます。

## 世界の人と出会うチャンスがいっぱい！



ホームステイ受け入れ



親子ホームステイ



青少年ホームステイ



高校留学



多言語キャンプ

1/5(日)

1/18(土)

1/25(土)

2/11(火祝)

### 上坊寺 薫

千葉県在住。夫と2人の息子の4人家族。子供が小学3年生、小学1年生の時にヒッポと出会い、多言語のある暮らしがスタート！英語を勉強しただけで話せるようにならず逆に苦手と感じている私。。せめて子供たちには、ことばを苦手と思わなくてほしいと、多言語の環境の中に飛び込んでみました。多言語環境の中で多様に成長していくのは子供たちだけでなく自分自身にも変化が！！この環境の中で見つけたことをお話しします。



### 小野 美与子

新座市在住。夫と小6小2の子供がいます。**【環境を作るだけで、誰でも何歳からでもことばが話せるようになる】**というところに共感し、この活動を始めました。新しい言葉や人に出会うことで、二人の子どもたちは家族以外からもたくさん愛されてのびのび育っているように思います。そして私自身も、これまで知らなかった世界が広がっていくのが楽しいです♪



### 佐藤 淳彦

英語だけでも大変なのに多言語！？と半信半疑でしたが、多言語活動によって家族みんなのことばが成長。日常の多言語活動を中心に、ホームステイなど世界の様々な人との出会いから、どんな人にも向き合うところも育ちました。仕事への姿勢も変化し、仕事一辺倒でなく活動や家族との時間を作るきっかけにもなりました。講座では**社会の変化、ことばの成長は環境と人との繋がりが大切**、ということについてお話しします。



### 大平 道子

長女が2歳の時に、多言語に出会いました。多言語環境で育った2人の娘は、「ことばがわからないと思ったことがない」「多言語は自由で、自分らしくいられる」「日本語だけが窮屈」と話します。ことばは語学でも外国語でもない。聞こえてくる環境、受けとめ合う家族や仲間の中で育っていく。**母語の獲得と同じプロセスで話せるようになっていく**ことを、たくさんの人との出会いの中で実感しています。



## 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブとは

国や人種の違いを超えて、どんなことばを話す人ともコミュニケーションできたら・・・。そんな思いから、多言語(いくつものことば)を、自然に獲得していく活動として、1981年に「ヒッポ」は誕生しました。

本来人間は、複数のことばを同時に話せるようになる自然の力を持っています。多言語に自然に触れることで、世界への興味も育まれ、多様性に開かれた人間として育っていきます。日常から、家族みんなで楽しめる！そんな新しい学びのプログラムとして、世界と繋がる交流も充実しています。

## 東京大学 × マサチューセッツ工科大学 × ヒッポファミリークラブの共同研究

### 多言語活動の重要性が脳科学的に明らかに

- 「多言語話者は2言語話者より新しい言語の習得時に脳活動が活発になる」ことが、脳科学的に実証されました。
- 「第3、第4言語を習得する際に使われる脳の部位が、母語の習得に関わる部位と同じである」ことを世界で初めて特定。そのことにより「何歳になっても子どもと同じように、新しい言語を習得することが可能である」ことが裏付けられました。

酒井 邦嘉 教授  
東京大学大学院総合文化研究科  
言語脳科学



多言語の音声に触れることで誰でも新たな言語を柔軟に習得することが可能です。また多言語を同時に習得することで、効果が蓄積し相乗効果を生みます。

